

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	25-61	ホームのなかだけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望に沿って戸外に出かけられるよう支援する。	利用者の意欲が低下しないように様子を見ながら外出支援に努める。	食材などもまとめ買いせずこまめに買物に行き外での機会を増やす。 希望があったときは待たせない対応を心がけ意欲が低下しないようにする。	6ヶ月
2	7-14	利用者の暮らしぶりや健康状態を家族に知ってもらう。	積極的に記録物を開示して利用者の様子を知ってもらい家族と情報を共有する。	面会時や家族会のときに介護記録に目を通してもらい利用者の日々の状況を知ってもらう。 おたよりで情報を知らせる。	6ヶ月
3	11-20	同業者との交流の機会をもつ。	グループホーム内外での相互研修の実施をする。	近隣のホームに交流を依頼する。(他のグループホームの見学)	6ヶ月
4	27-71	災害対策として利用者の避難訓練と、地域の人々の協力を得る。ホーム独自の備蓄品の検討をする。	地域の方が訪問しやすい環境づくりをする。ホーム独自の備蓄品の検討をする。	散歩の回数を増やし近所に溶け込める環境づくりをする。(顔なじみになる) ホームの行事参加を促すと共に近隣の行事にも参加していく。	6ヶ月
5	19-47	重度化や終末期に向けた方針の共有化。	「看取り」に関する共有化。	看取りをするしないに関わらず、看取りに関しての情報に常に関心を持ち知識を深める。 勉強会のテーマに取り上げ知識を深める。 医師との関係作りをしていく。	6ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。